環境まちづくり委員会　送付７－33
日本テレビによる二番町計画についての環境影響調査の説明を求める陳情

受付年月日　　令和７年10月23日

陳　情　者　　提 出 者　　1名

千代田区議会議長　秋谷こうき様

令和7年10月23日

氏名：[redacted]
住所：[redacted]
電話：[redacted]

日本テレビによる二番町計画についての環境影響調査の説明を求める陳情

9月の環境まちづくり委員会では、二番町の日本テレビ跡地の再開発について、基本計画の策定を要請しているとのことでしたが、これは与件整理の完了を待たずに基本計画が作られることになり、これまで区が説明してきた進め方と異なってしまいます。

基本計画がないと懸念事項も浮かび上がらず議論が進まない、とのことでしたが、すでに事業者である日本テレビが行った「環境影響調査」があります。
これは二番町再開発が周辺に大変大きな影響を及ぶことが数字で示された重要な資料ですが、日本テレビ放送網株式会社のサイトにはなく、大変わかりにくいところにあり、住民にはほとんど知られていません。まずこの説明を事業者（日本テレビ）からさせていただけば、基本計画を待たずに、住民等関係者側から生活感覚に合わせた問題点が具体的に述べられると思います。

この「環境影響調査」と「基本計画後の環境影響調査」は大きく違うはずはないので、まず第一にこの「環境影響調査」を住民に示して、そこで出た議論を与件整理に加え、「与件整理」が完了したところで「基本計画」の策定を事業者に要請していただくようお願いいたします。

＜参考＞
「日本テレビ放送網株式会社による、日本テレビ跡地再開発の環境影響調査」
https://www.bancho-forest.com/pdf/future6.pdf

内容の例：

【ビル風】

最大瞬間風速が20mを超える頻度が年間13日以下のところが、60m案の場合87箇所中18箇所から80m案では30箇所に増える。

※（当方註）これは東京都環境影響評価技術指針にある風環境評価基準を採用したとしていますが、この指針に基づいた建物でも激しいビル風を起こし、人が歩けなくなっている事象が区内でもあちこちで見られます。スタジオ棟横でも子供が歩けなくなっています。
最大瞬間風速が20mを超える頻度が年間13日が30箇所というのは、生活実感としては許容限度を超えます。

【交通量】

狭い日テレ通りで、ピーク時車両台数は（片道？）64台と、60m案に比べて、1.45倍も増える。

【歩行者】

同1260人から2100人にも増える。（これも片道かどうか明記されていません）

以上

収受
千区議会第98号
7.10.23
千代田区議会事務局